



Ferris University

2012 No.10

フェリス女学院大学同窓会会報



フェリスホールパイプオルガンと学院オフィシャルCD

《聖句》

「主に感謝せよ。主は恵みふかく、そのいくつしみはとこしえに絶える
ことがない」

詩篇107篇 1節

希望を告げる鳩

学院理事長 奥田 義孝



私がフェリス女学院の理事をお引き受けたのは二〇〇三年二月でしたので、学院とご縁はもう十年目に入っています。昨年一月月末、小塩節先生が健康上の理由で理事長を退かれ、思いがけず後任をお引き受けることになりました。

二〇一二年は、三月一日の東日本大震災により、直接被害に遭わなかったわけでも、ともども心に痛めた年でした。前号の「会報」No.9を見てみると、多くのメッセージのなかに被災された方々へのさまざまな思いが記され、また各同窓会の総会中止などが報じられていて、改めて一年前の状況を想起させられます。

私は、一度は現地を見ておきたいという思いと、何も出来ないのにただ見に行くというは如何にも申し訳ないという思いが交錯し逡巡していたのですが、去る三月二日と四月一日の両日、宮城県の石巻を訪ねる機会を得ました。親しい知人が中心になって、被災地の方々に励ますための室内楽コンサートが東北各地で開催されることになり、その一つである石巻のコンサート会場が、私が会員である東京の教会と親しい関係にある教会だったのが切っ掛けでした。この教会は市街地の少し高台にあり、すぐ近くまで津波がきたのですが、辛うじて難を免れたとのこと、被災当時は、近隣の被災者の避難所や、救済物資の基地になったとのこと。

四月一日(日)の礼拝に出席し、午後にはコンサートに参加したのですが、コンサートに環遊された方のアンケートに、「大切な物は心の中に」「音楽の聴ける環境になり、少しだけ前向きに進んでいる」「辛い毎日の経験を受け消して下さる心の安らぎを頂くことが出来、感謝」などの言葉が寄せられ、嬉しく、また心癒されました。

教室の正面にステンドグラスがあり、オリブの一枝をくわえた鳩がデザインされていました。まさに「見よ、鳩はくちばしにオリブの葉をくわえていた。ノアは水が地上からひいたことを知った。(創世記8章16節)」、ノアに希望を告げたあの鳩が、ステンドグラスを通して差し込む光のなかで、被災地の方々に希望を告げているようでした。私たち一人一人に出来ることは限られていますが、いま私たちがどして最も大事なことは、「おれなごう」であり、「Let us pray for others」を心に持ち続けることではないでしょうか。

教育理念 For Others を生み育んだもの

学院長 大塩 武



フェリス女学院の教育理念(モットー) For Others は、誰言い出してもなく、自然発生的にキャンパスで言われるようになってきただけでなく、そのキャンパスにはキリスト教の精神を適切に言い表すフレーズ For Others がエトース(風風)として濃厚に漂っていたことを、名譽教授であつた氣仙三が指摘しています。

この氣仙の提言に依りながら、昨年の本誌冒頭において、一九三〇年代後半に For Others が教育理念(モットー)としてフェリスに定着したにもかかわらず、一九五〇年代に、院長の山本武雄が For Others を語るときには、「フィリピの信徒への手紙」二章四節の「めいめい自分のことだけでなく、他人のことも注意を払いなさい」という聖句を好んで引用したため、For Others は「フィリピの信徒への手紙」二章四節に由来すると言われるようになったことを申しあげました。今回はその譚話をもう少し発展させてみます。

For Others が、自然発生的に、誰言い出さずともな学内に定着したにもかかわらず、定着後二年以上も経過してから、「フィリピの信徒への手紙」二章四節に直接由来すると言われようになったことは、多少の違和感が残ります。「フィリピの信徒への手紙」二章四節は、For Others の意味を説くためには適當な聖書箇所であることは間違いないにしても、For Others というフレーズの典拠とするには無理があると言わざるを得ません。

現大学が「フィリピの信徒への手紙」二章四節の英語訳として依拠している聖書は、New American Standard Version です。その文は「Do not merely look out for your own personal interests, but also for the interests of others for the interests of others」とあり、For Others はフレーズの形になっていません。また、英語版聖書で最も信頼があると言われてくる New Revised Standard Version です。Let each of you look not your own interests, but to the interests of others」と表されています。フィリピの信徒への手紙「二章四節を For Others の典拠とするために無理をするよりも、一九三〇年代の後半、いまから八〇年も前に、キリスト教の精神がエトースとして濃厚に漂っていたフェリスのキャンパスから自然発生的に醸し出され、育まれたのが For Others であつたと言ふ事実を目を覚めることが、私たちにどうより意味あることではないでしょうか。

私たちが受け継ぐべきは、For Others と言うフレーズも然ることながら、フェリスのキャンパスに満ちあふれていたエトースです。それを継承することが、For Others と「フェリス」をフェリス女学院の教育理念にする意味ではないでしょうか。

学長挨拶

学長 秋岡 陽



宮取学長の任期満了退任のあとをうけ、四月一日から学長に就任しました。これまでは「音楽史」「賛美歌学」などの授業を担当。しかしこれから四年の学長任期中は、皆様の母校をより良い学校にすることが仕事です。先日、同窓会総会で何人かの方にはご挨拶

いたしました。大勢の皆様にお目にかかるのはこれから。実際にお会いする日を楽しみに、まずはこの紙面をお借りしてご挨拶申し上げます。

フェリス女学院は二〇一〇年に創立一四〇周年を祝い、今は二〇二〇年の創立一五〇周年に向けて新たな歩みを始めています。二〇二〇年の話なんて、なんと気が早い」と思われるかもしれませんが、しかし加速度的に変化する社会の中で、皆様の母校がより一層の輝きを放つ学校であるために、学院は今「デザイン・デザイン」(長期的・総合的な将来構想)の策定に力を注いでいます。

目まぐるしく変化する社会でつねに輝き続ける学校であることは容易ではありません。しかしフェリスならきっとできる。なにしろ、日本ではいちばん古い歴史をもつ学校でありながら、つねに時代の先端を切り拓いてきた新しい学校なのです。そうしたフェリス・スピリットを確認する意味でも、この六月に完成した「フェリス女学院校歌」のCDは必聴です。フェリス生ならではの透明で澄んだ歌声。ぜひ一度お聴き下さい。

山手の丘に新しい土地を入手したニュースもお伝えしなくてはなりません。大学の校地に隣接して横浜中華学校がありましたが、その移転跡地をフェリス女学院が取得したのです。敷地内の建物については、現在、大規模な耐震・改修工事が行われており、二〇二二年秋から、大学の「山手大号館」として新装・使用開始の予定です。同窓生の皆様と会つてみると、若い日にこの学校で本当に良い友人・先生方との出会いがあつたことが雰囲気から伝わってきます。それを思うにつけ、今後、フェリスがフェリスらしくなくなるようなことが決してあつてはいけません。しかしフェリスが「よりフェリスらしくなる」ようにもしくなくてははいけません。建学の精神と「For Others」の教育理念を大切にしつつ、つねに新しいフェリスを自覚したいものです。皆様のご支援をお願いいたします。

皆さん、ありがとう 学院名誉顧問・前理事長 小塩 節



フェリス女学院大学の同窓会の皆さんには、たいへん長い間、お世話になりました。中高の白菊会とともに、非力な者をよくお支えお励ましていただきましたことに、本会報の紙面をおかりして心からお礼申し上げます。山手と緑園のキャンパスの美しい景色をバックにして

たくさん、実にたくさんのお窓会員の皆さんの笑顔がまなこに浮かんで、懐かしさに耐えないものがあります。本当はおひとりおひとりと握手をして感謝の思いをお伝えしたいのですが、とてもそれは無理ですのでここにつたない言葉でお届けいたします。皆さん、ありがとうございました。

どうかこれからも、母校のために祈りつつ、さらに強くお支えください。よろしくお願いいたします。小じんまりしてはおりますが、世界と日本に誇るべきキャンパスです。

昨年（二〇二一年）クリスマス会の折に、お別れの挨拶を許されました時に一言申したように、学院長と理事長を計十四年勤めましたが、とくに学校法人の理事長としては、歴代の理事長の中で、私ほど何もなかった。出来なかつた者はありませんでした。ただひたすら、多くの方々、同業者が懸命にお働きくださった流れを滑らかにすることのみで、見るべき何のわざもありません。すべては皆様方のお力によるものです。そのようなあなたたいお支えは、いろいろな困難もあつた学園を明るく前進させてくださったのです。これからもずっとそうにちがひありません。

心残りなのは、何人もの方々、つまり教員と職員と同窓生の方々、学生諸嬢のうちのあの人かの人と、心をひらいてお話をしたかつた。それしないで来てしまったことが、胸を痛めることであります。うかうかと過かしてあるあひだはそんなことを思いもしないですが、ついにお別れという時にいたつて、この思いが痛切に胸を刺してきます。人生には多くの「お別れ」があります。そして別れば、人生の、そして時代の最も美しかったものを思いがけなくも一気にさし示してくれて、そしてそれをフツンと切つてしまふものであるらしい。

しかし、私たちはまだ地上にあつて、それぞれ場で生かされ、生きていくことを許され、命じられております。ですから、また山手か緑園でお会いしましょう。笑顔でね。その時まで、ごきげんよう！

学長退任のご挨拶 前学長 宮坂 覺



同窓会の皆様には、日ごろからお世話になり衷心より感謝申し上げます。とくに、学長在任中の四年間は皆様の祈りと支援を大きなたよりとさせていたできました。皆様と共有した思いを十全に話したとは誠に言い難いのですが、先人たちが苦しい発展させてきた本学・学院のために微力を尽くすことが出来感謝です。

三月に催して頂いた「退任の会」でお配りした拙著の「あとがき」に次のように認めさせて頂きました。

いかなる組織も、出会い、通過していった人たちの支持を受けなければ、「場」としては枯渇するか、変節を包含することになる。教育機関は、同窓生という大きな財産を持つている。今まで多くの知恵を頂いてきた。その意味では、同窓生が「学校」の理念の継承者であるともいえる。果立つていった者の人生の豊かさ、教育の「場」の豊かさと同比例すると考える。でなければ、教育研究の「場」である「学」の意味は薄い。「F140コミュニケーション」発信の理念を支えている思いでもある。教職員、学生、学生の経済的支援者（保護者）、同窓生の知恵の総体が、次代を担い拓く教育機関としての「大学」のエンジンとなるであろう。またそう願いたい。

（眼に見るもの、見えないもの）

フェリス女学院・大学同窓会に関する思いのたけを述べたつもりです。それは、以前からの思いでもありました。「F140コミュニケーション」に具現化したつもりです。ながら心にとどめていたオールフェリスの理念を担うものでもありました。

三・一二問題は、現地で巻き込まれ方、また生活の場で多くの方が今も何らかの影響を受けています。さらに、世界は大きなパラダイムシフト（価値変換）の渦中にあります。このようなかで、フェリス女学院は学院一五〇年を見据え着実に歩みを続けています。キダー女史の志、また学院のモットーである「For Others」に思いを馳せながら、伝統を検証しつつ堅実に歩を進めています。かく言う私も、OBとして今後とも、皆さんとともにフェリス女学院に関心を持ち続けてまいります。

「フェリス女学院校歌」の学院オフィシャルCDが完成いたしました

フェリスの校歌は、歌うこと、聴くことに新しい息吹、そして希望に満ちた自由な精神を感じさせてくれる「フェリスの象徴」です。フェリス女学院では、二〇二二年一月～三月にかけて、大学音楽学部学生および中高生生徒が演奏した「フェリス女学院校歌CD」を二〇二二年創立記念日に完成させました。

収録内容は、①一九五〇年制定の英康子作詞・團伊玖磨作曲に基づく女声三部合唱、②清らかな原曲を岡島雅興教授（大学音楽芸術学科）と大塚安宏氏（元中高音楽科教師）が美しく多彩に編曲した器楽曲各種、③同窓会等の要望に応えた伴奏版、④一九二九年作「最初の校歌」、全四部九曲。学校法人フェリス女学院の組織の一体感（All Feres）を醸成する、バラエティ豊かで、校歌の枠を超えた芸術作品集に仕上がりました。

フェリス女学校 校歌（一九五〇年制定）

英康子 作詞／團伊玖磨 作曲

- 1 中高 女声三部合唱とバイオリン、ピアノ（原曲）
- 2 大学 女声三部合唱とピアノ（原曲）
- 3 大学 弦楽アンサンブル
- 4 中高 ハンドベルとハンドチャイム
- 5 大学 ピアノ（原曲の伴奏）
- 6 大学 フルーツアンサンブルとハーブ
- 7 大学 女声三部合唱と弦楽アンサンブル
- 8 中高 バイオリンとピアノ（原曲の伴奏）
- フェリス和英女学校 校歌（最初の校歌）
寺田 醇造 作詞／Old Netherlands Melody
- 9 中高 女声四部合唱とピアノ

校歌に息づくフェリスの清麗で自由闊達な精神を、フェリス女学院に関わる皆様幅広くお聴きいただけるよう、同窓会で販売することにいたしました（一枚、〇〇〇円（送料込み））。

詳しいは、各同窓会事務局にお問い合わせください。

申し込み・お問い合わせ

- ◆ 文学部 国際交流学部
- TEL 〇四五八二一八六九一 FAX 〇四五八一四一八九六六
- ◆ グループ（音楽学部 短期大学音楽科）
- TEL FAX 〇四五八八八一七四〇〇
- りへるで（短期大学家政科）
- TEL FAX 〇四五八六六二〇七五〇

りべるて・Fグループ・りてら 合同総会

2012年4月30日・カイパー記念講堂にて



第九回同窓会総会は、新緑の美しい山手カイパー記念講堂で開催されました。

休日ではありませんでしたが、授業は平常通り行なわれていましたので、山手へ向かう石段を学生と一緒に登るのは大変でした。

はじめに礼拝を行いました。司式はりてら佐々木陽子さん、奏樂は大浦邦子先生、説教は秋岡陽学長にお願いしました。カイパー講堂の荘嚴なパイプオルガンの響に心を静め賛美歌を歌うと学生時代に戻ったようです。

秋岡学長のお話は詩篇一〇七篇二八〜三一節に基づき、神様は敢えて私達に苦難を与えてくださる。そして必ず望む方向に導いてくださる。自分の力だけでなく主の力を信じて祈ることが大切とお話されました。また、賛美歌二二・六番『つくりぬしを賛美します』は、現在の校歌が出来るまで校歌として歌われていたとの、興味深いお話もされました。

総会は、同窓会を代表し、りてら小澤会長よりFグループ熊本会長、りてら金子会長の紹介と、六月二三日（土）東日本大震災で被災したフェリスの大学生のために三同窓会がチャリティコンサートを開催するご案内と皆様へご協力をお願いしました。

続いて来賓としてご臨席いただきま

した秋岡陽学長より、新任のご挨拶と、同窓会活動への感謝のお言葉をいただきました。

次に大塩武学院長より、今後の学校の在り方と、All Ferrisの考え方、この二つを柱としてお考えいただいていること、そして六月一日に校歌のCDを中高、大学が心をひとつにして製作した旨、お話をされました。

その後、懐かしい校歌を歌い、中庭の石段に移り、記念撮影をしました。

そして、各同窓会に場所を移し、個別総会、懇親会を行いました。

来年は四月二九日、山手で開催する予定です。改めてご案内を致しますので、皆様お誘い合わせの上、ご出席くださいますよう、お願いいたします。



第23回 リベるて総会

四月三〇(月)、家政科記念館において、りべるて総会が開催されました。

会長挨拶の後、二〇一一年度活動報告、決算報告、会計監査報告、二〇一二年年度活動計画(案)、予算(案)が審議、承認されました。審議に続き、四月の役員会において推薦された、三名の新役員候補者が、会長より任命され、皆様に紹介されました。

続いて秋岡学長より、りべるて奨学金への謝辞と、新たな卒業生を迎える事が出来ないりべるて同窓会が、寂しくならない様『For Others』の精神でやって行きますようにとの暖かいお言葉を頂きました。

二年振りの総会開催となった本年、初めて参加された方も多く、出席者・委任状合計一、六三六名の主席者を受け、恙無く終了しました。

りべるては、同窓生講師による講習会やバザーなどを企画し、皆様のご参加をお待ちしております。



(報告 岩江眞理子・D51)

Fグループ総会

四月三〇日、山手のカイパー記念講堂での合同総会の後、山手キャンパス6号館601教室にて秋岡陽新学長、立神粧子音楽学部長代行をお迎えし、Fグループ総会を開催いたしました。

熊本会長の挨拶に始まり、来賓の秋岡学長、立神先生から現在の大学の様子などをお話し頂きました。議事に入り、一一年度会計報告・会計監査報告・二二年度予算案、一一年度活動報告、二二年度活動予定がそれぞれ承認されました。また、二二年度会長任期満了に伴い、選挙管理委員長より挨拶、報告がありました。その後、Fグループの総会ならではの新卒業生によるピアノソロ、ソプラノソロのフレッシュな演奏を聴き、各支部からの活動報告をしていただき、懇親会となりました。

今年度の合同総会は、カイパー記念講堂のオルガンが設置されて初めての開催だったこともあり、たくさんのFグループ会員の皆さまにご出席いただきました。本年度も皆様のFグループへのご参加を心からお待ちしております。

(報告 金出地佳代・55回)



第27回 りてら総会

四月三〇日、カイパー記念講堂での合同礼拝の終了後、12号館大会議室にてりてら総会が開催されました。

当日は天候にも恵まれ、合同礼拝後に室内で行われる記念撮影も、緑の美しい中庭で行いました。

総会は会長の挨拶に始まり、学年幹事会で決議された昨年度の事業報告・決算、今年度の事業計画・予算についての報告がなされました。

参加者は三七名でしたが、二〇〇〇年代卒業の若い会員が一〇名もあり、会場はフレッシュな雰囲気でした。本年から費用の一部をご負担いただく会費制とさせていただきます。昼食内容を充実いたしました。

昼食後、ご参加の皆さまから、「りてら」に関するご意見やご要望など、貴重なご意見をいただきました。「来て、楽しんで」というご感想を多数いただき、和やかで有意義な集いでした。来年はぜひ、お誘いあわせて、懐かしい山手にお出かけください。

(報告 木村貴美・85)



チャリティー・コンサート

東日本震災で被災したフェリスの大学生を支援するためのコンサートは、りてら、りべるて、Fグループの三同窓会が主催し、六月三日(土)、フェリスホールに於て開催されました。

出演は音楽学部の先生方、卒業生、在校生で、スタッフを含め皆様ボランティアで参加して下さいました。

同窓生をはじめ、白菊会、近隣の方々にもご協力をいただき、チケットは完売となりました。売上・寄付全額を「フェリス女学院大学生支援基金」へ寄付いたしました。感謝をもって、ご報告いたします。



二〇一一年度卒業式

同窓会では、今年、

●文学部 295名

●国際交流学部 239名

●音楽学部 100名

●大学院 人文科学研究科 9名

国際交流研究科 3名

音楽研究科 14名

の卒業生・修了生をお迎えすることができました。



りべるて

Vol. 24
家政科同窓会

未来を見据えて

会長 金子 和恵



皆様、いつもりべるての活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。

今年も会報をお届け出来ますことは、寄稿並びに編集にご尽力くださいました方々のお陰と感謝申し上げます。

四月三十日、カイパー講堂と家政科記念館に於て開催されました総会は、友井ゆり子先生にご臨席を賜りまして、また、昭和二十八年卒業の方から最後の昭和六十四年卒業の多

くの会員にご出席をいただきました。『山手で総会があるから来るのよ!!』とおっしゃる皆様を思うとしつかり同窓会を守らなければと、身の引き締まる思いです。

昨年創設した奨学金は四名の学生に貸与しました。勉学を続けるお手伝いが出来て、本当に良かったです。概要は大学ホームページ及び入学案内にも掲載しておりますのでご覧ください。

同窓会の一番重要な事は、名簿の管理です。会員は約五、五〇〇名、現在住所不明は約九〇〇名です。

皆様の住所は、卒業と同時に同窓会が一括管理します。転居等で住所不明となりますと、お手紙をお送りすることが出来なくなります。どうぞこれからも変更がございましたら同窓会までお知らせください。またお友達でお手紙が届いていない方がご存知でしたらお知らせください。

宜しく願っています。

同窓会は、過去・現在・未来と繋がって活動すると考えます。りべるては、家政科を閉じたところまでが過去で、活動を続ける現在と、未来は学校の発展のため、また、直接繋がってはいませんが、在学生のために何が出来るか考えていくことと思います。

二年前より始まった学生のためのお料理やお菓子の講習会、そして奨学金は未来へ託す事業です。また、受験を考えている身近な方へフェリスを紹介し、受験していただく事も、同窓会ができる協力であり、学校の発展となるでしょう。現在を大切に役員一同活動を続けて参りますので、皆様からのご意見、ご要望がございましたらどうぞりべるてまでお知らせください。

最後に、総会でご案内しました、りてら、Fグループ、りべるての大学三同窓会が主催しました、東日本大震災で被災した学生の支援を目的としたコンサートは、六月二十三日盛会のうちに終了いたしました。ご協力いただきましてありがとうございます。感謝をもってご報告いたします。

奨学金贈呈

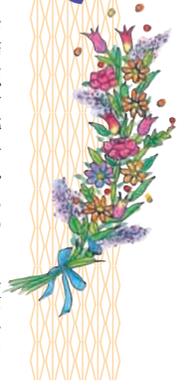
二〇二二年度奨学金は、七月一二日、友井ゆり子先生と共に秋岡陽学長に贈呈いたしました。



二〇二二年度役員

会長	金子 和恵	D 51
副会長	村本とよ子	D 35
書記	小倉由紀子	D 43
書記	北村 周子	D 43
書記	遠藤木美子	D 45
書記	石井 克子	D 43
書記	近藤 誠子	D 44
書記	鈴木 初枝	D 44
書記	岩江真理子	D 51
書記	三藤 裕子	D 54
書記	池田 昭子	D 61
書記	竹内 久美	D 61
書記	三浦由里子	D 64
書記	郷 佑美	D 43
書記	浅見 治美	D 45

友井先生を囲んで



六月十四日、家政科記念館に、友井ゆり子先生、川又志朗先生、大河内君子先生をお招きして、家政科の思い出をお伺いしました。

友井先生は一九五五年から家政科と共に生まれ、九才の今もお元気でお料理を教えてください。川又先生は、短大に二十年、大学に十三年キリスト教を教えてくださいました。大河内先生は、一九七〇年から短大で体育を教えてください、大学を今春定年退職されました。

戦後アメリカ軍に接収されたフェリスが学校として再開した一九四七年、横浜の教会の子供達がカイパー講堂で礼拝を行った時、川又少年は代表して聖書の一節を暗唱したそうです。ベルギー製のステンドグラスの後ろに西陽が当たり、それは綺麗だったそうです。その後、家政科のために二号館が建ち、陽が当たらなくなり、ステンドグラスの後ろにライトを付けたそうです。その折、当時の都留校長に、「君は将来何になるの？この学校の先生になりなさい!!」と励まされ、本当にフェリスの先生になつたと笑っていらつしました。

四二年フェリスで教えられた大河内先生は、親子二代に渡ることも多かったそうです。自分の娘も学ばせたいと思う楽しかった学生生活の一端に、磯子プリンスや氷川丸で開いたダンスパーティーやクリスマスパーティーがあります。学生と先生と一緒に楽しんだそうです。

足立智恵子先生は、いつも白衣をお召しになり、礼拝にも白衣でいらして、川又先生は礼拝では白衣をお取りいただきたいと思つても、とうとう言えなかつたと苦笑されていました。授業を終えると必ず消毒液に手を浸すとは、さすがお医者様です。

三浦てつ子先生、友井先生は常にスーツをお召しになり、ハイヒールで大人の女性の身だしなみを自然に教えてくださいました。授業で卒業式のガウンを縫つたり、本格的な洋裁を教えてくださいました。友井先生の料理実習は、本格的で良い材料で作りました。結婚した卒業生の多くが、授業のレシピが役立ち大切に保存していると聞きます。

講義は多岐に渡り、中華料理は調理のみならず、文化やマナー、言葉まで学んだそうです。川又先生のご友人の演劇概論の先生は、帝国劇場の支配人で、単位は帝劇でミュージカルを鑑賞すると取れたそうです。天文学や美術史も教養として学べたそうです。子育てのための育児学、良い絵本が選べるよう、更に自分で書けるよう児童文学もありました。中高と一緒の図書館には沢山の児童文学があり、子育て中だった大河内先生は良く借りたそうですが、家政科の学生はあまり借りに来なかつたと図書館長だった川又先生は笑っていらつしました。女性も自分の家の設計が出来るようにと山田初江先生、横浜らしく生糸や織物の専門家の授業もあり、生地サンプル

から手ざわりで糸の違いを学んだと、川又先生から教えていただきました。

昭和五十年頃までは私学出身者が多く、個性的な生徒が多かつたそうです。良妻賢母を育てるだけでなく、女性も自立し職業を持てるように、結婚して外国に住むことも考え、英語・仏語・独語・伊語等にも力を入れ、多才なカリキュラムから入試で人気を集め、短大に落ちて、大学に入学するケースが多かつたそうです。

五十川周作先生は家政科長として学生を自分の娘の様に思い、いつも学生は楽しんでるかを気にされていらつしたそうです。六号館建設では、女性としての身だしなみを整える様ホテル並のパウダールームや、トイレは敢えて和式で、ボタン式として衛生意面にも気を配つてくださったそうです。

家政科はユニークで先取的で、何より自由な素晴らしい環境だったと、お三人の先生方は懐かしんでいらつしました。

これ程までに先生方が一つになつて盛り上げて下さつた家政科で学べた事に感謝です。



奥山正夫先生を偲ぶ会

二〇一一年十月八日(土)、家政科記念館に於て 奥山正夫先生を偲ぶ会が、奥様、岡崎晃先生・友井ゆり子先生・榎本義子先生・矢野知子先生のご臨席をいただき行なわれました。ピアノ伴奏は、Fグループの熊本美也子会長がお引き受け下さいました。

奥様から先生の信仰とご生涯のお話を伺い、また、先生がお話をされているテープを聞かせていただきました。

多くの感謝とともに心からご冥福をお祈りいたします。



行事予定

十一月二日(金)・三日(土・祝)

フェリス祭参加バザー

十二月八日(土)

フェリス女学院中高・大学同窓会

クリスマス礼拝

十一時カイパー記念講堂

二〇一三年

一月

大村先生のステンドグラス教室

大森先生お菓子教室

二月

矢吹先生北欧絵織物教室

フェリス祭バザーへのお誘い

十一月二日(金)・三日(土・祝)の両日 家政科記念館において、毎年恒例のバザーを開催します。

フェリスグッズ・手作り品・寄贈品・チューリップやユリの球根等を販売いたします。

また、元町老舗田辺屋のフェリスマーク入りおまんじゅうと、最近では文明堂三笠山にフェリスマークを入れて販売しておりますが、どちらも皆様にとっても好評です。

ティールームでは、おいしいケーキとお茶を用意しております。

ぜひ、ご家族とお友達とお誘いあわせて、懐かしいフェリスの丘へお出かけ下さいませ。

今年も、友井先生と一緒に、おいしいお茶を入れて皆様のお越しを待ちたいしております。

尚、バザー販売による収益は、全額フェリス女学院維持協力会に寄付させていただきます。お待ちしております。



献品のお願

フェリス祭バザーのためにご家庭で利用されな未使用の日用雑貨品や贈答品等がございましたら、献品くださますようお願い申し上げます。尚、食料品、衣類は除外させていただきます。

● 受付期間…十一月一日まで

毎週木曜日、午前十一時～午後三時

● 受付場所…家政科記念館

〒二三一〇一八七九〇 横浜市中央区山手六八

家政科同窓会りべるて宛

*郵送・宅配便でお送りいただいても結構です。

フェリスグッズ

- シルバーオオノ製カードケース 2,800円
- エプロン(黒・赤・茶・ピンク) 各 2,000円
- 牛革ペンケース(赤・青・茶・紫) 各 1,500円
- ハンドタオル 各 450円
(クリーム・グリーン・ブルー・ピンク・白)
- 140周年記念ファイル(2枚組) 200円

《グッズ申し込み先》

家政科同窓会 りべるて
氏名・卒年・住所(郵便番号)・電話・商品名・
個数を、TEL・FAXにてお申し込み下さい。
TEL・FAX 045-662-0750
(木曜日11:00~15:00)

大学生のための お料理教室・お菓子教室

同窓会では、今年度も学生課より依頼のありました料理教室とお菓子教室を行いました。

矢野先生のお料理教室は十一月二十四日、基本の出汁のとり方を教えていただき、バランスの良い献立の作り方と市販品を使って美味しく作るコツなど、お手伝いをした役員も領く事が多くありました。

大森先生のお菓子教室は十二月一日、チョコ作りの基本と、お友達が来た時にすぐ作れ、まるで売っているようなステキなお菓子を教えていただきました。学生は試食をして、自分で作ったお菓子の美味しさに歓声を上げていました。



友井ゆり子先生のお料理教室

梅雨の晴れ間の六月十四日、家政科記念館において、友井先生のお料理教室が開かれました。



今回、教えて頂くのは、ビーフストロガノフとつけ合わせのバターライス、大森育子先生のオレンジドレッシングのサラダとトロピカル・デザートゼリーです。オープンでバターライスを作るのは初めての事でしたので、楽しく、家でも作ってみたいと思いました。出席された方々は、学年こそ違いますが、同じ家政科の出身ですので、すぐに打ち解け、素晴らしいお食事が出来上がりました。調理室から見えるお庭には、緑が繁り、梅の実がいくつもなっており、気持ちの良い風が通り抜けてきました。食後は、家政科卒業生らしく片付けもきれいに素早く終了しました。

友井先生は、学生時代とお変わりなく、丁寧に食事作りのヒントを教えてくださいました。(村本とよ子・D35)

りべるてのご案内よりいつも参加してみたいと思っております。大森先生のお菓子教室に、今年は年明けの日程が上手く折り合い、一月二六日初めて参加させていただきました。

今回のレシピは、お雛祭りのヨーグルトムースとクイックブレッド(二種)をご用意下さいました。

ヨーグルトムースは、抹茶カスター、ヨーグルトムースと苺を三層にして、冷やして固めたムースの上に、小さな苺とミントを飾り、お雛さまに見たてた、おもてなしに喜んでいただける、とても可愛い好評のメニューでした。

クイックブレッドは、手軽な薄力粉を使用した、枝豆&豆乳ブレッドと玉ねぎ&ベーコンブレッドを二種類紹介いただき、家にある食材を利用して、おやつに出来る様な親しみやすいメニューでした。

大森先生のご説明を聞き、手際良いサポートのおかげで、参加者の方々と和気あつた雰囲気の中で役割分担の作業をして、ランチタイムを楽しんで試食出来ました。

なつかしい学生生活の頃を思い出させていただく機会を設けて下さいましたこと、とても感謝しています。(三藤裕子・D54)

大森先生のお菓子教室



■2011年度決算報告書

2011.4.1~2012.3.31

科目	金額(円)
受取利息	2,302
事業費(グッズ販売、バザー)	621,141
寄付金の他	10,000
小計	633,443
前年度繰越金	12,443,309
合計	13,076,752
奨学金基金	500,000
学付金	97,791
事業費	10,000
事業費(グッズ)	630,793
小計	1,238,584
次年度繰越金	11,838,168
合計	13,076,752
繰越金明細	
定期貯金(株)ゆうちょ銀行	2,641,000
定期貯金(同上)	3,012,000
通常貯金(同上)	972,480
通常貯金(同上)	833,976
普通預金(横浜銀行)	370,390
定期預金(横浜銀行)	4,008,322
合計	11,838,168

■2011年度運営費報告書

2011.4.1~2012.3.31

科目	金額(円)
基金運営費(学院より)	2,526,716
合計	2,526,716
消耗品費	10,947
旅費交通費	304,700
通信・運搬費	1,041,752
印刷製本費	807,695
報酬手数料	2,470
会議費	57,472
諸会費	70,000
渉外費	154,324
雑費	69,481
繕修費	7,875
事業費	0
合計	2,526,716
収入-支出	0

■2012年度予算

2012.4.29

科目	金額(円)
消耗品費(事務用)	120,000
(その他)	10,000
110,000	
旅費・交通費	330,000
通信・運搬費(郵便料金)	1,020,000
(宅急便)	1,010,000
10,000	
印刷・製本費	900,000
報酬・手数料	2,000
会議・会合費	100,000
諸会費	70,000
渉外費	100,000
雑費	70,000
繕修費	0
事業費	0
寄付金	0
合計	2,712,000

会長 金子和恵 (印)

会計 石井克子 (印)

小倉由紀子 (印)

監査の結果、相違ないことを確認いたしました。2012年4月19日

監査 郷 侖美 (印)

浅見 沼美 (印)

お 願 い

二〇一一年五月に、草間正夫先生が帰天なさいました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。その折奥様より、りべるてにてご寄附を賜りました。心より御礼申し上げます。ありがとうございます。

転居・住居表示変更のために、郵便物が届かない方が増えています。変更がありましたら、りべるて宛、お知らせください。

TEL・FAX 〇四五-一六六一〇七五〇

Fグループの皆さま

Fグループ会長 熊本美也子 (17回)



全国のFグループ会員の皆様、お健やかに過ごしていらっしゃいますか。

昨年は東日本大震災被災地域六県にお住まいの三二名の方々にお見舞いハガキをお送りしたことに始まり、大学を通して卒業生から二台のピアノを岩手県に寄贈、北支那支援のためにFグループが主催するジョイントコンサート、研修会、ティータイムコンサートのチケット売り上げの積み立て、と一年が過ぎました。また、卒業生による復興支援コンサートも全国で数多くありました。

本年六月三日には大学同窓会主催による被災

「フェリスで音楽を学ぶ意味」

音楽学部長代理 立神 粧子

先日、山田昌弘、塚崎公義共著『家族の崩壊が招く未来』(東洋経済、二〇一二年)という本の中に次のような文章を見つけました。

「高度成長期には習いごととは投資効率が良かった、教育社会学の研究で、幼いころに習い事をしてきた女性は、収入が高い男性と結婚しているというデータがある。現在はともかく、昔はこのような相関があった。親は他の生活費を切りつめても、ピアノでもバレエでも無理に娘に習いごとをさせていた。八〇年代のバブルの

災されたフェリス大学生支援のためのチャリティーコンサートを開催いたしました。音楽学部の先生方、卒業生の暖かい出演ご協力をいただき、盛会のうちに終了いたしました。お心を寄せ下さいました多くの同窓生をはじめ全ての皆様に心より御礼申し上げます。これからも音楽を通して私達の出来ることを考え続けてまいりたいと思います。

同窓会のさまざまな活動や思いをFグループのみならず、他の同窓会(りてら・りべるて・白菊会)の方々とかちあうのは大きな喜びです。フェリスの For Others の精神を守り、母校と卒業生と共に元気に歩んでまいります。

第三回「山手の丘音楽コンクール」の予選が八月から始まります。今年も支部のお力をたくさんお借りすると思います。どうぞよろしくお願いいたします。最後になりましたが、Fグループは今年、学部・大学院あわせて二一四名の新会員を迎

頃までは、子供にかけた親の投資の元が取れていた。例えばお医者さんなど社会的地位の高い人ほど、音大を出ているとかバレエを習っていたという女性をこぞって奥さんにしたがっていたのではないか。

確かに自分の大学時代の頃のことを思い出すと、そのような風潮がありました。しかし今は様子が全く異なります。女性の社会進出は著しく、キャリアを持ちながらの子育てが当たり前。女性の参画によってようやく社会経済が成り立っている側面もあります。そういう社会において、音楽を総合大学で学ぶことにはいかなる価値を作り出すか、演奏を学ぶ喜びに意味を見出す学生をいかにして集めて育てるか、今一度真剣に

え、会員総数約三、八〇〇名となりました。フェリスの音楽の継承と発展のために、皆様の変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



考え直す時が来ています。

音楽芸術学科はそうした社会の動きを先取りできた成功例と言えます。演奏学科は受験者数の激減による苦境にあります。総合大学での多様な学び、キリスト教理念を音楽の中に実践的に学べる良さ、音楽を通じての人間教育、どれをとってもフェリスで音楽を学ぶメリットは本人にとっても大学にとっても大きいのです。

教員一同が教育内容やカリキュラムの改善に尽力することはもちろんですが、同窓会の皆様も、どうかお知恵と愛校心を奮い立たせ、音楽とりわけ演奏を学ぶことで成長が期待できる女子に、フェリスの良さをお伝えいただけますようお願い添えを切にお願い申し上げます。

2011年度 音楽の贈り物

ジョイントコンサート

11年9月15日 フェリスホール



楽科で、よき師の愛情に育まれてきたことを実感いたしました。今年度は9月13日(木)フェリスホールにて、18:30開演です。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

(担当 海野美栄・44回)

【11年度出演者】*大澤ゆかり(ソプラノ60回)・小林文美子(ピアノ伴奏60回)・山本香織(ピアノ独奏54回)・*宮崎陽子(メソソプラノ独唱60回)・澤田真美(ピアノ伴奏52回・院7回)・*三浦晴美(二台ピアノ)53回・院7回)・齋藤舞(二台ピアノ)56回)・*鈴木みりのり(フルート60回)・齋藤舞(ピアノ伴奏56回)・*吉竹淑子(二重唱・ソプラノ)25回)・*松田千恵子(二重唱・ソプラノ)25回)・田原ゆりこ(ピアノ伴奏)・*久保井明子(ピアノ独奏31回)

◆ジョイントコンサート出演者募集

毎年九月予定のジョイント・コンサートはFグループ会員、音楽学部関係者であれば出演可能です。詳細は事務局までお問い合わせ下さい。(書類選考あり)。

研修会

11年10月7日 フェリスホール

11年の研修会は山手フェリスホールにて17時から朝倉蒼生先生、辻宥子先生、高須亜紀子さんの伴奏で「デュエットの楽しみ」と題しまして、ドイツ・イタリア・フランス・イギリス・ロシアの二重唱曲とお話をお送りさせて頂きました。

先生方のハーモニーがキンモクセイの香りのように広がり、楽しいお話に時に笑い声も溢れてたくさんのお客様と素敵な一時を過ごさせて頂きました。

また今年度は10月27日(土)10時から渡邊明先生をお迎えし、

生をお迎えし、シューマンとハイネ、そしてクララ、と題しまして、シューマンの歌曲の公開レッスンを緑園キャンパス内チャペルで行います。皆様のお越しをお待ちしております。(担当 小瀨美穂・42回)



ティータイムコンサート

11年11月10日 山手6号館601教室

11年度のティータイムコンサートは、16回生の熊取谷寿子さん、伴奏に32回生の脇谷敦子さんをお招きして、リコーダーの演奏とお話をしていただきました。海外での演奏のお話を聞いていただきました。

新役員紹介

● 常任：小堀 世美子 (26回)
菅原 麻衣子 (50回)

話や貴重な体験を、演奏を交えてお話ししていただき、来場の皆様はとも興味深く聞き入っていました。「音楽に支えられて」というタイトルのとおり、熊取谷さんが音楽と共に歩んでいらしたことを感じるこの出来、良いコンサートとなりました。

今年度は11月5日(月)に、演奏学科教授の落合敦先生のピアノ演奏とお話を予定しております。(担当 中川佐和子・25回)



Fグループ2012年度コンサートのご案内

ジョイントコンサート

9月13日(木)18:30開演
於:フェリスホール ¥1,000

【出演】

音楽芸術(声楽): 中戸真知子(61回)
声 楽: 柿本有衣(56回・院10回)
ピアノソロ: 漆間有紀(58回・院12回)・榎松美帆(59回・院13回)
二台ピアノ: 江草千枝(院3回)・江草里枝(院6回)
ヴァイオリン: 平野亜衣(61回)

研修会

公開レッスン「ハイネの詩によるシューマンの歌曲」
～ハイネとシューマン、そしてクララ～

10月27日(土)10時開演

於: 緑園キャンパス・チャペル ¥1,000

講師: 渡邊明(バリトン)
受講生: 高橋仙佳(ソプラノ)・藤田直子(ソプラノ)・
押見春喜(バス・バリトン)

ティータイムコンサート 「芸術は必要ガ」

11月5日(月)14時開演

於: 山手キャンパス6号館 ¥1,000(茶菓子付)
講師: 落合敦(ピアノ)、演奏とお話

「お問い合わせ・お申し込み」
Fグループ事務局(木曜日10時～17時)
Tel & Fax: 045-681-6740

倉長治子先生とのお別れ

熊取谷 寿子 (16回)



新緑の光、薔薇の香りと共に先生は九四才で天に召されました。凛と背筋を伸ばした華著なお姿は、皆の胸に刻まれています。豊かな情熱に満ちた声楽のレッスンは、音への憧れ、聴くことの大切さを学び、ソルフェージュのあの厳しい緊張感に授業を受けた誰もが決して忘れていません。

威厳と品位のある人生の送り方を私達に教えて下さいました。さらに戦後五〇年目に出版された『歳月に花を捧げて』は、多くの方々に感動と生きる意味を示して下さいました。満州退避行、お辛い別れ、それでも奇跡と思われる出来事。先生は「全て神に導かれて」と不思議な守り、音楽の力で戦後のフェリス女学院の復興へと歴史の扉を開いてゆかれたのです。

衣・食・住に於いて完璧な美しき生活は私達の憧れ目標であり、又お茶目な面もあって、楽しく語り合えることは至福の時でした。

昨年桜の頃ホームをお訪ねし、イタリヤ歌曲と笛を聴いて頂き、テンポのアドヴァイスを受けました。それが五二年間お導き戴いた最後のレッスンでした。

永久のお別れは、それは美しいお顔で今にも唇が動いて「あなたたち、しっかり生きていくのよ」と仰っているようでした。はい。先生。明日に向かって……

支部だより

北支部

支部長 工藤 羊子 (30回)

昨年十一月四日に、仙台で会合を催しましたところ、六名の同窓生、札幌から私を含め二名、福島から一名、仙台から三名が集いました(玉田、佐久間、斎藤、一階堂、田代)敬称略。その際、息長く被災地の方々のために何が出来るかと話し合い、私たちが被災地の方々と共に讚美の時を持てるなら、微力ながらお役に立てるかもしれない、という考えに至りました。

この度、Fグループ本部より北支部のこの活動に対して援助金をいただきましたことは、大きな助け・励みとなります。この場をお借りして感謝申し上げます。

今年一月には日本キリスト改革派仙台教会(福井直美さん所属)で、第一回目の讚美奉仕活動を予定しております。

中部支部

支部長 牛込 まり (25回)

震災があつて、昨年度の卒業生は演奏の場が限られたのではないのかと思います。しかし、音楽の力を改めて感じています。

「ふれっしゅ」は五名が演奏されました。フェリスのレベルの高さが証明されたと思います。演奏後、色々な話が出ましたが、私達同窓生がもっとバックアップできるといいなと思います。コンクールは素晴らしいホールだったので、音漏れなど問題点もありました。弦の参加も多く、かなりレベルの高い予選になりました。同窓生が

良い結果を出しています。

近畿・中国・四国支部

支部長 一見 伊都子 (18回)

秋のコンサートは先生をお招きせず、地元同窓生と横浜のアンサンブルという組み合わせでした。ジュニア・シニアコンサートはクリスマスに開催しました。参加者観客も多く盛況に終わりました。

昨年六月三〇日、倉敷美観地区にある「はしまやさん」で、総会と会員によるミニコンサートを開催しました。京都、大阪、兵庫、岡山、広島、愛媛から二名集まつて下さり、会も盛り上がりました。演奏された七名の方は、学生時代はバイオリン専攻で現在は声楽を勉強されておられる方々、子育て真っ最中の方、お仕事を都合つけて下さった方々です。縁あつて一緒に演奏出来たことは、夫々感慨深いものであります。



今年四月三〇日、カイパー記念講堂での本部総会では、新しく設置された、パイプオルガンの荘厳で迫力のあるミサ曲で始まりました。音楽学部の一層の発展を願う仲間の祈りが、フェリスの高い教育理念と品格を漂わせるオルガンの響きと共に天に届きますように。

九州・山口支部

支部長 安波 裕子 (24回)

二〇一一年四月二四日(日航ホテル)、二二日八月八日(あいれふホール)と二回の演奏会、八

月、十一月、三月、と訪問演奏にピアノ、歌ヴァイオリン、合唱の方々と同じました。昨年一二月の演奏会は初めて音楽学部の演奏学科と芸術学科を御紹介できる演奏会になりました。サントリーホール企画に選ばれた院生の企画の一部を再演出。国際学科卒の方のダンスもあり、先生方とヴァーカルアンサンブル九州合唱団の演奏もありました。今までにない新しいフェリスの大学紹介が出来たと思います。

二〇一二年度はまた新たに各地方、そしてアジアに向け企画中です。先ず、七月八日に宮崎で演奏会を致します。お近くの方等いらつしやいましたら是非お出かけ下さい。For Others をモットーにどこでも通用する、より良いフェリスでいつづけたいと思います。

Fグループ賞 山手の丘音楽コンクール

二〇一一年山手の丘音楽コンクールに同窓会よりFグループ賞を贈呈いたしました。

- 《受賞された方々は、下記の通りです》
- ピアノソロ部門/加川奈津希
 - ピアノ連弾部門/別府智美、別府龍一
 - 声楽ソロ部門/乾ひろこ
 - 声楽アンサンブル部門/畑中紫南、丹野愛歩
 - 弦楽器ソロ部門/二本美里
 - フルートソロ部門/生明麻衣子

フェリス音楽教室

こどもたちとともに57年

毎週水・土曜日
音楽学部校舎で授業

<山手教室>
045-212-2396

<緑園教室>
045-813-1070

<http://www.ferrismusicinst.org>

卒業生だより

黒人神学と教会音楽を学ぶために米国ジョージア州アトランタに移り住んで六年が経ちました。

私が通った神学校は米黒人キリスト教団を母体とし、ダウンタウンの私立黒人大学が集まるキャンパスにあります。学生たちと教授が学問的な事だけでなく、社会問題、人種、貧困、宗教家庭などの問題について、また教会がその問題について、どのように取り組むか日々議論しています。私は研修生として、HIV感染者のメンタルケアプログラムを行う団体や、ホームレスの人々の自立支援をする団体にも参加したり、所属教会では、礼拝やコミュニティのために奉仕したりしてきました。人種問題の抗議活動の現場や、米国の歴史が大きく変わった瞬間に立ち会えた事は、私の人生のなかでもっとも貴重な経験であるといえます。信仰と歌が彼らの暮らしの中に常に在り、人々の心を支え、繋いでいること、霊歌や古いゴスペル曲の歌詞に込められた歴史と深い意味を想います。

その中であって、日本人としてのアイデンティティ

2011年度会計収支報告

<収入の部>

(単位:円)

項目	予算額	決算額
終身会費	4,000,000	4,930,000
研修会費	100,000	183,000
ティーム会費	30,000	66,000
ジョイント会費	120,000	172,000
宛名シール	15,000	37,620
雑収	50,000	47,623
小計	4,315,000	5,436,243
前年度繰越金	1,998,807	1,998,807
収入の部合計	6,313,807	7,435,050

<支出の部>

(単位:円)

項目	予算額	決算額
(1) 運営費	1,860,000	1,379,315
会議費	30,000	5,737
印刷費	60,000	31,838
通信費	300,000	235,337
人件費	600,000	562,400
交際費	80,000	36,193
事務費	50,000	37,933
備品費	100,000	0
出張費	60,000	13,920
交通費	450,000	392,000
学年幹事会費	70,000	63,957
特別委員会	10,000	0
予備費	50,000	0
(2) 活動費	3,200,000	2,530,157
総会関係費	600,000	717,052
研修会関係費	400,000	264,566
ティーム関係費	130,000	95,764
会報関係費	650,000	535,417
ジョイント関係費	270,000	134,628
リサイクル後援費	150,000	32,000
支部関係費	600,000	569,440
慶弔関係費	200,000	81,290
予備費	200,000	0
東北地方同窓生支援	0	100,000
(3) 諸会費	370,000	370,000
連絡会維持費	70,000	70,000
維持協力会費	300,000	300,000
(4) 積立金	750,000	750,000
名簿積立金	50,000	50,000
積立金	700,000	700,000
(5) 予備費	133,807	19,845
支出合計	6,313,807	5,049,317
剰余金		2,385,733
支出の部合計	6,313,807	7,435,050

監査の結果、妥当かつ正確であることを確認しました。

Fグループ会計監査 大谷 園子 (監) 小西 和代 (監)

Fグループ会報編集
本田 緑 (35回) 白波瀬早百合 (36回)

Fグループ催しの折、設置しております募金箱、その他より、学生支援基金へ¥八〇,〇〇〇円を寄付いたしました。御協力ありがとうございました。

●フェリス学院大学への募金箱についての報告

Email: f-group@feris.ac.jp

電話: FAX (045) 681-6740

◆慶弔 同窓生、先生の慶弔をご一報下さい。

◆山手6号館601教室の貸し出し、宛名ラベルの印刷、演奏会の後援を行っております。詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。

◆住所・電話番号(宛名ラベル右上にある7桁の英数字)と一緒にお知らせ下さい。

◆Fグループ事務局 木曜日10時〜17時

旧姓・整理番号(宛名ラベル右上にある7桁の英数字)と一緒にお知らせ下さい。

◆Fグループのホームページが、携帯からも見られるようになりました。

http://f-group-hp.org/

QRコード

お問い合わせは、遠山洋子まで

電話&FAX: 045-361-5729

立候補提出期限/二〇一三年一月一〇日

提出先/Fグループ選挙管理委員会

(Fグループ事務局気付)

●委員長/遠山洋子 (10回)

●委員/高瀬なつ江 (17回)、本阿彌詠子 (20回)、長瀬紀久美 (27回)、森久美子 (31回)

*お問い合わせは、遠山洋子まで

電話&FAX: 045-361-5729

管理委員会へご連絡下さいます様、お願い申し上げます。

二〇一二年三月一日(木) 山手6号館601教室

出席人数三二名。一一年度一般会計収支報告(仮)および会計監査報告、一二年度一般会計収支予算(案)についての承認が行われ、各役員より一一年度活動報告等がありました。また、来年の次期同窓会会長選出に向けての選挙管理委員会が発足されました。

会は前日の雪でお足元の悪い中にも関わらず、たくさんの幹事の皆様にお集まりいただき、和やかな雰囲気の中滞りなく進行し、茶話を楽しんだ後、閉会となりました。(報告 阿部真季49回)

声楽学科卒。ディプロマコース修了。ゴスペル音楽を中心にコーラス指導・演奏活動を行う。現在米国ジョージア州アトランタ在住。教会聖歌隊やコミュニティワイヤのメンバー。ソリストとして南部各地の教会やイベントに招かれ礼拝奉仕や演奏活動を行う。

弓削 礼子 (44回)

前年右端が弓削さん

《任期満了に伴うFグループ会長の選挙》

二〇一三年三月に、任期満了となる同窓会会長の選挙を行います(任期は二〇一三年四月から三年間)。会則に基づき選挙によって選出されます。

会長の仕事は、同窓会全員の代表として母校創立の精神を尊重しつつ、会員相互の親睦と発展に尽力することにあります。自薦他薦に関わらず、選挙

二〇一二年三月一日(木) 山手6号館601教室

出席人数三二名。一一年度一般会計収支報告(仮)および会計監査報告、一二年度一般会計収支予算(案)についての承認が行われ、各役員より一一年度活動報告等がありました。また、来年の次期同窓会会長選出に向けての選挙管理委員会が発足されました。

会は前日の雪でお足元の悪い中にも関わらず、たくさんの幹事の皆様にお集まりいただき、和やかな雰囲気の中滞りなく進行し、茶話を楽しんだ後、閉会となりました。(報告 阿部真季49回)

声楽学科卒。ディプロマコース修了。ゴスペル音楽を中心にコーラス指導・演奏活動を行う。現在米国ジョージア州アトランタ在住。教会聖歌隊やコミュニティワイヤのメンバー。ソリストとして南部各地の教会やイベントに招かれ礼拝奉仕や演奏活動を行う。

弓削 礼子 (44回)

前年右端が弓削さん

《任期満了に伴うFグループ会長の選挙》

二〇一三年三月に、任期満了となる同窓会会長の選挙を行います(任期は二〇一三年四月から三年間)。会則に基づき選挙によって選出されます。

会長の仕事は、同窓会全員の代表として母校創立の精神を尊重しつつ、会員相互の親睦と発展に尽力することにあります。自薦他薦に関わらず、選挙

二〇一二年三月一日(木) 山手6号館601教室

出席人数三二名。一一年度一般会計収支報告(仮)および会計監査報告、一二年度一般会計収支予算(案)についての承認が行われ、各役員より一一年度活動報告等がありました。また、来年の次期同窓会会長選出に向けての選挙管理委員会が発足されました。

会は前日の雪でお足元の悪い中にも関わらず、たくさんの幹事の皆様にお集まりいただき、和やかな雰囲気の中滞りなく進行し、茶話を楽しんだ後、閉会となりました。(報告 阿部真季49回)

声楽学科卒。ディプロマコース修了。ゴスペル音楽を中心にコーラス指導・演奏活動を行う。現在米国ジョージア州アトランタ在住。教会聖歌隊やコミュニティワイヤのメンバー。ソリストとして南部各地の教会やイベントに招かれ礼拝奉仕や演奏活動を行う。

弓削 礼子 (44回)

前年右端が弓削さん

《任期満了に伴うFグループ会長の選挙》

りてら会員の皆さま

会長 小澤 美智子 (70)



同窓生の皆さま、いつもりてらの活動を
支えてくださりありがとうございます。
今春五三六名の新会員をお迎えし、総会員数
は一万六、五三八名となりました。が、残念
なことに住所不明の方々も三、〇八四名い
らっしゃいます。変化を続け、発展する学院や
大学、同窓会の様子もお知らせすることがで
きません。どうぞ転居・改姓の際には変更届
けをお出し下さいますようお願い申し上げます。
私達同窓会の一番大切なお役目は会員の
ご住所を把握し管理することです。情報管理
に務め、同期会やクラス会開催のお手伝いも
させて頂いておられます。ご卒業後の大学
からのお知らせもりてらの住所管理を通し
行われますのでご協力をお願いいたします。

また、減少傾向にある会費徴収も管理運
営・活動には大変重要な課題となっております。
未入金の方々への再請求を差し上げること
で収入に響いております。度々恐縮ですが、
何卒ご理解くださいますようお願いするが
お願いいたします。

今年度りてらの活動は、昨年開催を断念し
た大学同窓会総会・会報発行を無事に終え、
例年の活動、旅くらぶ・学祭参加・クリスマス
礼拝の予定に加え、「被災学生のためのチ

ャリティコンサートを大学同窓会として開
催しました。そして六月一日の創立記念日に
合わせ、中高・大学合同での学院作成フェ
リス女学院校歌CDが完成しました。是非
皆さまに聴いていただきたい素敵なCDで
す。他同窓会々々ALFFERISSにふ
さわしい活動に加えていただけましたこと感
謝しております。グッズ販売などの利益は維
持協力会や学生支援基金に寄付させていただ
いております。

もう一つご報告があります。りてらのホ
ムページが秋にはご覧いただくことができる
ようになる予定です。経費削減のため、少々
時間が掛かる方法を取りましたので幹事会で
承認を得てから時間が経過してしまいました
た。りてらのニュースを始め、会報もホム
ページに掲載します。将来的には従来通り紙
ベースか、ホームページ上でご覧いただくか
を選択していただく所存でございます。海外
在住の同窓生のご希望も多かったので、これ
からりてらをもっと身近に感じていただけ
ると思います。

四月の総会では初めて参加下さった方々か
ら「楽しかった!」というお言葉をいただいた
ことが役員一同何より嬉しいことでした。
「総会」では堅苦しいから「卒業生の集い」に
して、同日にクラス会を呼びかけたらどうだ
ろう、など積極的な意見もいただきました。
ひとりでも多くの会員にご参加いただくこと
が運営の力となります。どうぞお気軽に行事
にご参加くださいませ。最後に幹事の皆さま
の幹事会へのご参加をお願い申し上げます。

りてらとともに

荘 杏子 (51 E)

私が「りてら」会員になったのは約三
〇年前のことでしょうか。
フェリス女学院同窓会がその組織を
改め、各単位に分かれて自主活動をす
ることになったのは一九八三年だった
と思います。そして大学の前身である
私達Eクラブは、りてらと合併するこ
とになりました。

私はそれ以前も、りてらの方とは山手
の旧同窓会室でよくお会いしていまし
た。当時は、会報「フェリスたより」の
発送もお喋りしながらの手作業で、たい
へん和やかな雰囲気でした。封筒の宛名
ももちろん手書きでした。ある年、りて
らの方が宛名ラベルを貼っていらして
「こんな便利な物があるの」と一同たい
へん驚いたこともありました。

Eクラブは短大が廃止されてからは
活動も消極的になり寂しく思っていま
したが、若いりてらの方々が一、四〇
〇名の私達を温かく迎えてくださり、
お互いに協力して一九八五年六月八日
に、第一回りてら総会を開催すること
ができました。山手校舎三三三教室は
一六〇名を超える同窓生の熱気で一杯
でした。礼拝に続き、小田島雄志先生
の講演「シェイクスピア劇」も、氏独
特のユーモアを交え賑やかで楽しい会
だったと、懐かしく思い出します。

この時に会長をしていただいた小澤さん
をはじめ多くの後輩たちと親しくなり、
以来、時には「若さ」をいただきながら

今日に至っております。
当初、中高同窓会の白菊会が中心で、
後にオールフェリスのクラス『アイ
ズグリーンクラブ』は、今年で四三年
目を迎えました。音楽学部名誉教授の
田中順先生のご指導も、変わらず続け
ております。

Eクラブ時代のアンケートをもとに始
めた『英語読書会』も、今も健在です。
このように同窓会を通じて、多くの
先輩・後輩と親しくなれましたことは、
私の人生にとって大切な宝となってい
ます。これもフェリスの自由な校風
のおかげかと、母校への愛と感謝の気持
ちで一杯です。

今後は時代の変化と共に同窓会も変わ
っていくかと思えます。
毎年多数の卒業生を迎えながら、母校
に関心を持ってくださる方が少なく、た
いへん寂しく思っています。

学年幹事さんも、春と秋の二回の幹事
会にご出席
いただけれ
ない方が多
く、残念で
す。

今後のり
てらのため
に、ぜひご
出席くださ
いますよう
願っております。



第1回りてら総会、小田島先生と。右端が荘さん。



皆様、こんにちは。今回紙面を通じて、同窓会の皆様にご挨拶させていただきます。ただけること、とても嬉しく存じます。

私は、藤原良経を中心とした九条家（道長の子孫）の和歌と歴史を専門としています。天皇、百人一首、平家文化の研究にも力を注いでいます。今回は、この和歌、特に恋歌についてお話しさせていただきます。

日本の和歌は恋歌が多く、百人一首を例にとっても、百首中四三首が恋歌です。これはどうしてでしょうか。

少し話が変わりますが、皆様は絵本作家の松岡享子さんの『サンタクロースの部屋』子どもと本をめぐってという本をご存じですか？ その冒頭に、子どもがサンタクロースの存在を信じるこの意味が説かれています。心の中にひとたびサンタクロースを住まわせた子は、心の中にサンタクロースを収容する空間をつくりあげるのだそうです。大きくなって、いつかサンタクロースはその子の心から出ていってしまいますが、サンタクロースが住んでいた空間だけは残り、今度はサンタクロースに代わる新しい住人を迎え

ることができるというのです。この空間は、目に見えないものを信じるという心です。目に見えないものは、愛だったり、真実だったり、最もたいせつなものです。

さきほどの恋歌に話を戻しますと、恋歌の本質は相手をいとおしむことに尽きます。美しい恋歌は、私たちに人を信じることを、愛することを教えてくれます。恋という感情が住む空間は、異性への恋が去って行った後も、信頼や敬愛という心が次々と住んでくれると思うのですが、いかがでしょうか。

仕事柄、教え子の結婚式に招かれることが多いのですが、スピーチのときに、私が必ず新郎新婦に贈る和歌があります。

君がため春の野にいでて若菜摘む
わが衣手に雪は降りつつ（光孝天皇）

冷たい雪に衣の袖を濡らしながら、あなたのために早春の若菜を摘んだというのです。百人一首屈指の美しい歌です。

近年小学校や中学校でも百人一首を暗唱したり、競技かるたで遊んだりするところが増えているようですが、「サンタクロースが住む部屋」を持った子どもたちが育っていつてくれたら、と願っています。

紙幅が尽きてしまいました。いつかお目にかかりました折にでも、ご感想を伺えたら幸いです。

『山手西洋館と懐かしい三号館を巡る散歩』

十二月一日（木）、あいにくの小雨模様でしたが、石川町駅にくらぶ員一七名が集合し、山手西洋館めぐりがスタートしました。現在山手には七つの西洋館があり、各館がテーマに沿った美しい「クリスマス飾り」公開初日の見学となりました。

大学三号館跡地では、姿を残している寮（寄宿舎）の思い出話に花が咲きました。三号館跡地は、許可なく入構できませんが、西洋館はすべて無料で公開されています。ヒルサイドガーデンで、賑やかにイタリアン・ランチを頂きました。

今年のくらぶは、十一月に築地散策を計画しております。くらぶ登録ご希望の方は、同窓会室までお申し込みください。



●ハンカチの木

二〇〇六年に「りてらショップ」の収益金で図書館横に寄贈した三本のハンカチの木が傷みがひどくなり、修復不能という診断が下り、大学とも相談し、残念ながら伐採することとなりました。

●お願い

住所変更のお届けは、間違いを避けるため、電話でなく、メール・FAXまたは郵送にてお願いいたします。

●会員番号

お送りしております郵便物の宛名ラベルの右上の八桁の番号が、あなたの「りてら会員番号」です。

●クラス会開催の宛名ラベル請求

個人情報保護の文書を取り交わすため、ご請求は学年幹事さんからお願いたします。

りてら2011年度決算報告

(2011.4.1~2012.3.31)

●収入の部 (円)

科目	決算
会費	16,050,000
利息	21,707
雑収入	30,000
小計	16,101,707
繰越金	36,538,942
合計	52,640,649

●支出の部 (円)

科目	決算
会費	51,454
印刷費	92,223
報連費	2,419,050
総会費	785,561
通信費	211,657
通給費	831,562
交際費	195,110
手数料	4,934
パソコン関連費	26,997
ホームページ関連費	0
会議費	126,837
卒業生・入会費	969,707
学用品費	91,000
学祭費	69,300
大寄会費	1,050,000
企画費	70,000
就職支援金	300,000
雑費	-7,423
合計	7,287,969
繰越金	45,352,680
合計	52,640,649

伊東深水画伯の思い出

横田 操子 (55 E)

昭和三〇年春、楽しかった山手フェリス校舎地下一階での学生生活は終わった。充実した二年間であった。しかし同時に自分の目標となる何かがあった。

「日本画」がやりたかった。

父に申し出たところ不承不承ながら許してくれた。父の仕事を手伝いながら、北鎌倉の伊東深水画伯にご指導を仰ぐこととなった。北鎌倉駅を降り、材木屋の角を左折し、緑深い山道を、平行して流れる疎水と共に歩く。山肌には野の花も咲き、稲田を過ぎると画伯邸の門に至る。山腹を縫う様に登り廊下は続き、先生の画室は山頂にあった。

淡紫に煙る山々を一望し、画室の麓には英国風のコティヂがあつて其処に各地からのお弟子さんが指導を受けていた。当時の日本は敗戦の傷手から立ち上り、復興も目覚しく明るい気運が漲っていた。

日本画では岩絵の具で製作する他に、和紙に顔彩をつけた筆で、さらりと描く「つけたて」の技法がある。



作品「春を惜しむ」80号変形
雅号 白鳥操

日本画・水墨画を習う人達にはあまり難しく考えず、身の回りにある道端の野の花、野菜、果物から気軽に描くことをお勧めしている。これからも私は力の続く限り描きたいと願っています。

先生のお描きになる花は実物よりも美しく、果物は実物よりも新鮮であった。

弛まぬ写生から生まれる日本画は写実を超えた美しい世界が其処にある。透明で裝飾的な要素もあり、日本人には好まれる分野であると私は信じて疑わない。

もつと多くの人がこの稀有な芸術を伝承して欲しいと願うばかりです。

画室では茶色の袖を召された姿の先生、写生旅行の折には皆とは談笑せず、バス停・駅でもスケッチの手を休めず、宴席では洒落な会話で皆を楽しませ、「河東節」を語られる。画塾では一枚の五〇号作品を描き、「つけたて」は巻紙で花・野菜・虫等を描き続けた。先生が笑顔を見せるのは若かった私達女性弟子にだけだったらしく男性の内弟子には厳しかった。画室では花柳章太郎氏等の手描きのきものも数多く描いておられた。

私も先生に倣ってかなりの手描きのきもの・帯等を描いてきた。

同窓生だより

宝の詰まった四年間

篠原 亜貴 (03 E)

私は現在、歯科医師となるために東京歯科大学で勉強しています。

フェリス女学院大学を卒業し社会人として企業に就職しましたが、歯科医師になることを決意し、歯科大学へと入学しました。

私がなぜ歯科医師となることを決意したか、それはフェリス女学院大学で学んだ四年間が大きく影響しています。私にとっては宝の詰まった四年間でした。私の最大の宝は、これまでに出会った人達、そして何よりその人達の考え方やライフスタイルを知ることができたことです。

社会人になってからもフェリス女学院大学で共に学んだ同級生や先輩方、また在学中に知り合った人達とは食事をしたりする機会が多くありました。皆、それぞれ環境の違うなかで生活していたのですが共通していることが一つありました。それは、常に何かに挑戦しようとする姿勢です。もちろん私も何か、これまでもとは違うことに挑戦してみたいと思っていました。そして、どうせやるなら社



会に貢献できることと思っていたのです。まさにフェリスの精神である「For Others」が根付いていたのだと思います。歯科大学に入学して五年が過ぎ、今年是国家試験の勉強に励む学年となりました。これまでの五年間も毎日が挑戦の連続で苦しいこともありましたが、充実した日々を過ごしています。

国家試験を乗り越え歯科医師となることが最終目標ではなく、歯科医師となつてから社会に貢献する、人々から求められるようになることが目標です。しかし、そのことを時々忘れてしまつてことがあります。特に今は国家試験の勉強に追われ、国家試験に受かることしか頭にないことがあります。

先日、卒業後はじめて総会に出席させていただきました。その時、同窓会役員の方で卒業されてから歯科大学へと入学され、現在は歯科医師として活躍されている方とお会いすることができました。お話をさせていただき勇気をいただきました。さらに、初めてお会いする先輩方や後輩達と話して「For Others」の精神を忘れずに頑張っている方々がこんなにも多いことを知りました。私も再び自分の目標が何であるかを確認する貴重な時間だったと感じています。

やはり私にとって人との出会いは宝です。総会でお話させていただいた同窓生の皆さま、ありがとうございました。

りてらアーカイブ 7

今回は英文科にいらした井上勝先生。国文科の英語クラスも持っていらしたので、多数の同窓生がお世話になりました。

「巡り合せ」 井上 勝

二〇〇三年一月初旬、ミシシッピ州オクスフォードの悪友から「本を出すことになった。原稿を送って欲しい。締め切りは三月末である」という、乱暴な依頼が飛び込んできた。

本は『第七回オクスフォード図書字彙』(ミシシッピ大学・オクスフォード市共催、2000.4.7~9)が一九九九年八月二日に急逝されたWillie Morris (1934~1999)の「追悼学会」と銘打たれたように、形を変えたウィリー・モリス追悼となるものだった。私はウィリーの慈愛に満ちた友情と親切に報いるためにも原稿を送らなければ、と思った。しかし、短い期間に、しかも入学試験等、重要な学内業務がある時期に原稿を書く余裕はなかった。依頼には「もし新しい原稿が届かなければ、『Where Willie』を転載するが、それでもいいか」との提案もあった。

先の学会で私は発表者の一人として駆り出されていた。それは、私が一九八六年度の「在外研究」でウィリーに教えるを受けていたことを「オクスフォードの文学サロン」の人たちが知っていたからで



2010年1月25日 フェリス・最後のクラスで。

あり、私がウィリーについて語れる「異邦人」の一人であると彼らが思っていたからだった。その学会に合わせて週刊タウン紙に掲載されたのが『Where Willie Is』であった。悪友がそれを本に転載しようとしたのは「作家でオクスフォードの文学サロンのホステス」(Dean Faulkner Wells: *Every Day by the Sun* (2011) のペーパーバック版)出版時の『フシントン・ポスト』紙書評

(2012.3.29付)、デイーンさんがそれをウィリーの親友、ウィリアム・スタインとデイヴィッド・ハルバースタムに送り、二人の評価を入手していたからである。しかし、私は「郡役所の時計」と題した講演(ミシシッピ大学南部文化研究所主催・2000.9.20)を修正した原稿を送った。それは、講演終了後、研究誌等への掲載予定を訊かれたからでもあったが、それにはウィリーに絡めたことも書いていたからだった。

二〇〇三年九月二日、私はオクスフォードにいた。それが『オクスフォードの物書きたち』(They Write Among Us, 2003)の出版記念会の日であった。会場はスクウェア・ブックス書店であった。執筆陣の二人、二度のフォークナー文学賞等を受賞したバリー・ハナ氏と『ジョウ』(1991)で一九九一年度全米図書館協会優秀作品賞などの受賞者ラリー・ブラウン氏のスピーチがあった。そして記念会はサイン会に変わるはずであった。

しかし二人のスピーチの後、ニール・ビガーズ連邦地裁判事が会場で立ち上がり、演壇へ進んだ。しかもそれは手順通りの進行のようであった。同時に、前日わざわざ私を昼食に誘い出して、町にさえない旨を伝えたリチャード・ハワース市長がどこからともなく現れたのだ。判事が演壇へ向かったとき、記念会は名誉市民称号授与式に変更されていたのである。それを知らないのは私だけだった。

サイン会の後、私たちはかつて私が「夜の研究室」と呼び、作家たちと落ち合う場としていた酒場へ繰り出した。酒場の銅板のカウンターにピカピカの真鍮板が金釘で留められていた。それには私の名前と好物(Wild Turkey)が刻印されていた。「税金免除市民」は酒場の「名誉常連客」にすでにになっていた。たぶんウィリーは驚いている私をどこかからにんまりと見下ろしていたことだろう。

生前のウィリーは私にアメリカで文章を発表するようにと説き続けていた。怠惰で臆病な私は彼の願いに応えることができなかった。彼の死によって私は彼が私に望んでいたことをさせられることになったのだ。季刊紙 The Faulkner Newsletter & Yoknapatawpha Review の創刊号(1981)にウィリーが一文を寄せ、二二世紀の第一号に拙文が掲載されたのも巡り合せであったのだろうか。

りてら同窓会室

開室 毎週火曜・木曜日 10時~16時

(大学の春・夏・冬期休暇中は閉室)

住所 〒二四五―八六五〇

横浜市泉区緑園四一五―三

フェリス女学院大学内

電話 〇四五―八二―八六九二

FAX 〇四五―八二―八六六六

メールアドレス

litela@uranus.dti.ne.jp

同窓会支部だより

東京支部

昨年の東京支部の活動をご紹介します。十月六日に浜松町東京會館で開かれた総会には、新しくご就任の大塩武学院長をお迎えして、ご挨拶いただきました。フェリスの女子教育の素晴らしさをもっと広く世間に知らしめたいとの力強いお言葉でした。三十九階からはスカイツリーも望める見事な眺望、議事や報告に続き賑やかな昼食やバザー。午後の公演は落語家のお囃子に聞くという初めての試みでしたが、出囃子にのって登場した入船亭扇遊師匠の古典落語「妾馬」は笑いの中にも胸を打つものがあり、寄席さんながらの雰囲気を楽しんだ楽しいひとときでした。

十月十五日、隅田川界限を散策した「土曜の会」、十一月十日、読書会で宮坂先生のご指導のもと、大岡昇平「野火」を読みました。十一月十八日に企画した、鎌倉市川喜多映画記念館見学も大先輩川喜多かしこさんが日本映画の発展に貢献した輝かしい足跡をたどる興味深いものでした。

今年に入り一月二十三日、初春歌舞伎観劇、四月十六日のお花見（河口湖）など、すべて四つの同窓会の垣根を越えた和やかな集まりです。皆様お誘い合わせの上、ぜひご参加くださいませ。そして今年の総会は十月四日（木）に詩人、伊藤比呂美さんをお迎えして開催します。ご期待ください。

支部長 多賀礼子

関西支部

二〇二一年度関西支部の総会は、十一月九日（水）、すっきりと爽やかな秋の青空が広がる京都で開催されました。

今年は大塩武学院長をお迎えし、京都の繁華街から少し離れた建仁寺祇園丸山で、静かで穏やかな雰囲気の中、礼拝、賛美歌、祈祷、ゆったりと始まりした。

大塩先生は時々ユーモアたっぷりなジョークを混ぜえながら、とてもお優しい笑顔で、大変熱心に、フェリス女学院の現状などをお話し下さいました。

同窓生は皆、教室で授業を聞いていたフェリス女学院学生時代に、まるでタイムスリップしたかのように感じたのではないのでしょうか。

今年も二〇代若いの同窓生が参加して下さり、学部、年代の垣根を越えてオールフェリスの明るく楽しい会となりました。

フェリスを愛し、フェリスで学んだ事を今も誇りに思っている沢山の同窓生が毎年、関西の地で集うことが出来ているのは本当に素晴らしい会となりまして、リスへの思いが深くなります。

二〇二一年度も例年通り、十一月第二水曜（十四日）、大阪で開催の予定です。関西に限らず、近隣他府県の同窓生の皆様、初めての方もどうぞお気軽に、ぜひ御参加下さい。

関西支部幹事 幸田睦子

西南支部

主の御名を賛美します。

同窓生の皆様、お変わりございませんか。其の西南支部同窓会（白菊会、りべるで・りてら・Fグループ合同）は、今年度も同窓会・総会を秋に行なう予定を準備を始めております。さて、昨年は十月二十七日（木）、リストランテASDで、当番幹事を家政科卒の広田祐子さんと田中丸由布さんにお願いが出来、大変お世話になりました。お蔭様で五六名が集まり下さいました。福泉勝栄さんのフルート演奏を始め、アンサンブルのハーモニ豊かな歌声、そしてハンドベル演奏の響きと、溢れる音楽を堪能し、又とてもお洒落な食事を戴き、母校を懐かしむおしゃべりと、至福の時間を共に過ごす事が出来、感謝でした。

最後に、六年間拙いお世話をしてまいりました家政科の大野満里、廣石登茂子、音楽科の伊藤和子に代わり、今年度より新しく支部長を菊竹美枝（国文科）さん、福支部長を市岡洋子（音楽科）さん、会計を後藤田鶴子（音楽科）さんにお願ひ出来ました事、大変嬉しく思っております。これも一重に皆様のご協力の賜物と感謝を申し上げます。今後共、宜しくお願ひ申し上げますと共に、本当にお世話になりました。同窓会の活動が皆様と共に、更に進んでいきます様に、心よりお祈り申し上げます。

前支部長 伊藤和子



白菊会より

皆さま、お健やかに過ごすごしのこと存じます。

本年度のカイパーサタデーコンサートの日程が確定いたしました。皆さまお揃いでお出かけ下さいませ。

白菊会会長 服部ひろ子

White Daisy Fair カイパーサタデーコンサート

XV 二〇二二年二月二十四日（土）
開場二二：〇〇 開演二二：〇〇
全席自由三〇〇〇円（学生券一〇〇〇円）

〔第一部〕
佐々木淑子（フルート）S57
坂口桐子（ソプラノ）S57
嘉山（旧中川）淳子（ピアノ）S54

●曲目より
カンタータ209番
《悲しみを知らぬ者》
BWV209（バッハ）…他

〔第二部〕

小林周子（ピアノ）S51
●曲目より
スカララッティソナタ
ベートーベン
ワルトシュタイン…他

XVI 二〇二三年三月三〇日（土）
開場二二：〇〇 開演二二：〇〇
全席自由三〇〇〇円（学生券一〇〇〇円）

〔出演〕
吉弘知鶴子（トスベルグ・リスト）S52…他
●曲目より
Amazing Grace
Oh Happy Day…他

- 会場 フェリス女学院カイパー記念講堂
- JR石川町南口、M.M.總元町中華街下車
- 主催 フェリス白菊会
- 後援 フェリス女学院中学校高等学校
- 問合せ 同窓会室（火・木在室）
- TEL 〇四五・五四二・〇〇〇
- 両日と美術展同時開催
- 収益はフェリス女学院中学校高等学校に寄付いたします。

●同窓会は外国にもあります

- ニューヨーク事務所
Mrs. Rakuko Kuwayama
136 West 24 St. New York, N.Y. 10011 U.S.A.
TEL 212-675-3840
- ハワイ事務所
Mrs. Chizu Hatakeyama
3043 Hollinger St. Honolulu, HI.
96815-4211 U.S.A.
TEL 808-735-1296 FAX 808-735-1579
- カリフォルニア事務所
Mrs. Junko Yokota
3117 Mabury Rd. San Jose, CA. 95127 U.S.A.
TEL 408-923-4632 FAX 408-729-5669

2011年度 フェリス女学院
中高・大学同窓会 会計報告

(2011年4月8日～2012年3月31日) (単位円)

前年度繰越金 (2011年4月7日)		953,600
収 入	同窓会 維持費 白菊会、りてら、りべるで、Fグループ 各@70,000×4	280,000
	利 息 2011年8月20日	88
	利 息 2012年2月18日	87
	小 計	280,175
収入合計		1,233,775
支 出	支部総会お祝い金 東京、西南、関西支部 各@20,000×3	60,000
	送料	1,140
	小塩前理事長 御礼	200,000
	クリスマス礼拝経費 (振込み手数料込)	100,077
	ご祝儀袋	787
	同窓会 代表印	18,480
	振込み手数料	420
支出合計		380,904
次年度繰越金		852,871

以上のとおりご報告いたします。
2012年4月1日 りてら会計 大胡 暁子 (大胡)

クリスマス礼拝のご案内

《日 時》 2012年12月8日(土)
午前 11:00～

《場 所》 カイパー記念講堂

クリスマス礼拝(2011年)献金先

- 献金総額 合計196,016円
- 特定非営利活動法人 難民を助ける会 ¥49,000
 - 社会福祉法人 日本医療伝道会 ¥49,000
 - 公益社団法人 日本キリスト教海外医療協会 ¥49,000
 - 公益財団法人 日本ユニセフ協会 ¥49,016

いつも大学同窓会の皆様には、さまざまな場面でも大学をお支えいただき有難うございます。大学も秋岡新学長を迎えて、新たな舵取りが始まりました。また、法人事務局長もこの四月より、これまで大学運営に大きくかかわって来た星野薫前中事務室長・元大学事務部次長が就任しました。大塩学院長、奥田理事長をはじめとして、この二年のうちに学院の執行部が一新した中で、大学は、二〇一二年度の入試結果を契機として、短期の改善案を模索しつつ、中長期のブランドデザイン策定作業を、学院の主宰するブランドデザイン策定作業と一体となって協議を続けています。

創立一四二周年を迎えた学院の中で、大学も二〇一五年には創設五〇周年の節目を迎えようとしています。大学もこの先一〇〇周年、二〇〇周年の節目を刻むべく、学院に集う皆様方の英知を集めて、この難局に対処する意気込みです。これまで以上に同窓会の皆様の大学へのご支援とご協力をお願いいたします。

さて、昨年この場をお借りしてご支援をお願いしました、本学の東日本大震災被災学生への奨学金基金へのご寄付については、社会情勢の厳しい折にもかわららず、たくさんのご協力をいただき、お陰様で昨年度は総額四、一二五、七六一円を基金に充当することが出来ました。これにより実際に支援に要した額の約九割を賄うことができました。学院に集う関係各位の篤き思いと、"For Others"の変わらぬ思いを実感

大学事務部より

しました。皆様方のご芳志に対して心より感謝申し上げます。有難うございました。ただ、昨年は所得税の寄付控除の対象とならないというご案内をさせて頂いた関係上、ご寄付いただく際に、ご住所や正確なお名前を頂戴しない方法をとらせていただいたため、ご寄付いただいた皆様おひとりおひとりに御礼を申し上げることが出来ませんでした。この場をお借りして失礼をお詫び申し上げます。

一年を経過して、学生を取り巻く環境も変化し、基金の想定額は、二〇一四年度までに一、〇八〇万円となりました。引き続き教職員への働きかけを行うことは勿論ですが、今年度も同窓会の皆様のご支援とご協力をお願いする所存です。

なお、今年度よりこの基金へのご寄付は所得税の寄付控除の対象となりましたので、ご寄付いただける場合は、ご面倒でも大学にご連絡いただき、所定の申し込み書によりお手続きをお願い申し上げます。

ご寄付についての問い合わせは、つぎの大学総務課にてうけたまわります。

今年度も、三同窓会のご発展と会員皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

《ご寄付についての問い合わせ》

大学総務課 担当 安西・小澤

【電話】〇四五―八二―八二―八二(代表)
〇四五―八二―八六―四二(直通)

【FAX】〇四五―八二―八二―八二

サークル紹介

ギリシア哲学の会

指導 岡野昌雄先生
日時 第三火曜日 一時半～三時
場所 中高同窓会室
連絡先 光恵子
〇四五(八九三)二〇二二

聖書を学ぶ会

お話し 岡野昌雄先生
日時 第二木曜日 十時半～十二時
場所 十二月は第三木曜日クリスマス会
中高同窓会室
連絡先 杉浦 昌子(S26)
〇四五(三三五)一〇五

世界史講座—キリスト教と世界史—

講師 棟居 洋先生
日時 第三木曜日 十時半～十二時半
場所 十二月はお休み
中高同窓会室
連絡先 数原安子(S48)
〇四五(四三三)五六九九

英語読書会

指導 吉野洋子先生
日時 第三水曜日 十時半～十二時
場所 中高同窓会室
連絡先 大島 和子
〇三(三四一)〇七三三〇

バイジューグリークラブ

指導 田中 順先生
日時 月二回 水曜日 一時半～三時
場所 中高同窓会室
連絡先 鈴木道子(S41)
〇四五(九三三)七六〇三



2012年度音楽学部コンサートのご案内

- ◆11月15日(木)音楽学部オーケストラ協演の夕べ
 - ソリスト/学内オーディション合格者
 - 指揮/鷹羽弘晃
 - オーケストラ/フェリス室内管弦楽団
 - フェリスホール/19:00開演 入場無料
- ◆12月7日(金)第11回フェリス管弦アンサンブル定期演奏会
 - 指揮/飯吉高
 - フェリスホール/19:00開演 入場無料
- ◆12月下旬 第22回フェリス女学院「メサイア」
 - *詳細未定
- ◆12月24日(月・祝)クリスマスを祝いましょう!
 - 出演/藤本朝巳(朗読)、フェリス・クリスマス・クワイア他
 - フェリスホール *詳細未定
- ◆2013年1月17日(木)大学院音楽研究科 オーケストラ協演の夕べ
 - ソリスト/学内オーディション合格者
 - オーケストラ/神奈川フィルハーモニー管弦楽団
 - 横浜みなとみらいホール(大) *詳細未定
- ◆3月14日(木)卒業記念演奏会
 - 出演/卒業試験成績優秀者
 - 横浜みなとみらいホール(小) *詳細未定

お問い合わせ:音楽学部演奏委員会室 TEL 045-681-5189

Fグループ演奏会のお知らせ

- ◆9月13日(木)ジョイントコンサート フェリスホール
ピアノ、声楽、ヴァイオリンによるコンサート
開演18:30 ¥1,000
- ◆10月27日(土)研修会 緑園キャンパス・チャペル
公開レッスン『ハイネの詩によるシューマンの歌曲』
～ハイネとシューマン、そしてクララ～
講師:渡邊明(ワトソン)
開演10:00 ¥1,000
- ◆11月5日(月)ティータイムコンサート『芸術は必要か』 山手キャンパス6号館
講師:落合敦(ピアノ)、演奏とお話
開演14:00 ¥1,000(茶菓子付)

お問い合わせ:Fグループ事務局 TEL & FAX 045-681-6740

永眠者(お届けのあった方)

- 短大名誉教授
倉長 治子先生 二〇二・五・二九
草間 正夫先生 二〇一・一・五
三浦 隆先生 二〇一・八・三三
大島 正泰先生 二〇二・六・二五
- りべるて
江間 紀子姉 (D36)
野口 美寿子姉 (D36)
武藤 悦子姉 (D36)
村山 宏子姉 (D55) 二〇一・一・九
白井 泉姉 (D43) 二〇一・一・九
向井 富子姉 (D34) 二〇一・四・七
岩崎 啓子姉 (D47) 二〇一・二・九
浜田 明子姉 (D39) 二〇一・二・二五
- Fグループ
黄川田けい子姉 (31M) 二〇一・三・二
岩崎 直姉 (17M) 二〇一・八・二
小野岡祐子姉 (29M) 二〇一・一〇・二七
井上 圭子姉 (26M) 二〇一・一・二七
松澤あゆみ姉 (29M) 二〇一・一・五
須藤 京子姉 (32M) 二〇一・二・九
岩崎 慶子姉 (25M) 二〇一・三・一七
有働 彩子姉 (53M) 二〇一・六・一九
- りてら
山口 理江姉 (89J) 二〇〇・五
圓佛 伸子姉 (65E) 二〇〇・九・五・二二
一井 眞佐子姉 (57E) 二〇〇・九・一・二六
小岩 美樹姉 (80E) 二〇一・〇・六
桜井 美穂姉 (93J) 二〇一・七・二四
白宮みのり姉 (64E) 二〇一・八
竹内 弘子姉 (52E) 二〇一・二・九
渡辺恵美子姉 (53E) 二〇一・二・二二
佐藤智恵子姉 (70E) 二〇一・二・二五
大原 邦子姉 (62E) 二〇一・三・二二

天来の慰めをお祈りいたします。

大学祭 FERRIS FESTIVAL 2012

テーマ: Sharing Joy with You
開催日時: 11月3日(土)・4日(日)
《両日》10:00～20:00
開催場所: 緑園キャンパス

資料室からのお願

- フェリス女学院百五十年史資料集◆第1集
◆「関東大震災女学生の記録」が発行されました。ご希望の方は資料室まで。
- 学院の歴史や学生生活に関わる資料を収集しております。資料をお持ちでしたら、ご連絡ください。
- フェリス女学院資料室
TEL: 045-662-4411
E-mail: shiyo@ferris.ac.jp

編集後記

お元気ですか。暑い夏に負けていらつしやいませんか。三同窓会報が合同になって十回目を迎える事が出来ました。会報に携わっている者として喜びを感じます。年月と共に、「和」が深まっています。いつまでもあなたか同窓会でありますように。どうぞ皆様、お一人でも多くの方に読んで頂けたら嬉しく思います。いろいろな行事に御参加お待ち致しております。楽しいですよ。感謝です。



フェリス女学院大学同窓会会報
二〇一二年八月発行
担当: 家政科同窓会りべるて
りてら 〇四五(六六二)〇七五〇
Fグループ 〇四五(八二二)八六九二
〇四五(六八二)六七四〇